

## 平成22年3月定例会会議録（第3号）

平成22年3月5日 金曜日 午前10時00分開議

町 田 義 昭 議 長 鈴 木 武 次 副議長

### 出席議員（18名）

1番	竹 田 博 一	議員	2番	鈴 木 悟 司	議員
3番	我 妻 昇	議員	4番	大 道 寺 信	議員
5番	谷 口 栄 子	議員	6番	蒲 生 光 男	議員
7番	佐々木 謙 二	議員	8番	安 部 隆	議員
9番	渋 谷 佐 輔	議員	10番	高 橋 孝 夫	議員
11番	大 沼 久	議員	12番	藤 原 民 夫	議員
13番	鈴 木 良 雄	議員	14番	小 関 勝 助	議員
15番	鈴 木 武 次	議員	16番	鈴 木 新 助	議員
17番	蒲 生 吉 夫	議員	18番	町 田 義 昭	議員

### 欠席議員（0名）

### 説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
飯 澤 常 雄	総務課長兼選挙管	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	理委員会事務局長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	企 画 調 整 課 長	中 井 晃	健 康 課 長
船 山 祐 子	市 民 課 長	高 橋 信 夫	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
矢久保 浩	福 祉 事 務 所 長	飯 田 武 志	監 査 委 員
加 藤 弘 二	消 防 主 幹	大 滝 昌 利	教 育 長
遠 藤 誠 一	教 育 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
遠 藤 正 明	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	齋 藤 理 喜 夫	商 工 観 光 課 長
鈴 木 一 則	農 林 課 長	平 進 介	管 理 課 長
那 須 宗 一	建 設 課 長	渡 部 政 明	農 業 委 員 会 事 務 局 長
鈴 木 要 一 郎	文 化 生 涯 学 習 課 長	佐 藤 孝 博	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
青 木 邦 彦	上 下 水 道 課 長		
	監 査 委 員 事 務 局 長		

+

## 事務局職員出席者

松本弘	議会事務局長	小関浩幸	補	佐
高橋由美	主 任	塚田知広	主	任

## 議事日程（第3号）

平成22年3月5日 金曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 17番 蒲生吉夫 議員
  - 1番 竹田博一 議員
  - 11番 大沼久 議員
  - 4番 大道寺信 議員
  - 2番 鈴木悟司 議員

## 本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

+

+

+

## 開 議

○町田義昭議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○町田義昭議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

これより個人質問を行います。

それでは、順序ご指名いたします。

#### 蒲生吉夫議員の質問

○町田義昭議長 順位5番、議席番号17番、蒲生吉夫議員。

(17番蒲生吉夫議員登壇)

○17番 蒲生吉夫議員 おはようございます。

3月定例会に当たりまして一般質問を申し上げたいと思います。

最初に、置賜地域に看護師養成学校の設置のためというテーマであります。高度医療を提供する中核病院として公立置賜総合病院を新設し、これまでの旧長井市立病院始め、南陽、川西病院、飯豊診療所などは初期医療、慢性期医療を提供するサテライト医療施設として役割

を担ってきました。

2000年、平成12年11月開院ですから10年になります。私は99年から病院組合の議員をしていますので、11年目になります。設立当初から医師不足の問題、看護師始め医療スタッフの必要数を確保できないなどを始め、院内保育園の設置問題や、ふえ続ける外来患者に対する医療連携のあり方など困難な問題も多くありました。基幹病院とサテライトを配置した病院という経営方式は全国的にも注目された経営方式であり、多くの団体が視察に来られたと記憶しております。

開院して10年目になったとはいえ、医師不足や看護師不足に関する状況は以前にも増して厳しくなっていると感じています。医師については、臨床研修医制度が導入され、卒業後2年間、新人医師の配置ができなかったことも大きく影響していると思われます。看護師については、現行の公立置賜総合病院のように10対1の看護体制をとっている病院が圧倒的多数であります。より安心・安全、良質な医療の提供を目指して7対1の看護体制をとるところもふえており、これまで以上、看護師の確保が困難になっていると考えられます。

加えて、看護師の職域の拡大も影響していると思います。置賜広域病院組合の病院改革アクションプランにおいては、平成23年度から7対1の看護体制を実現するよう計画されていますので、昨年10月の病院組合議会定例会において、「現在の看護師人数に比較して何人の増員が必要になるか」という質問に対して、「60名程度と想定している」とのことでありました。平成22年度の看護師採用として40人の募集定数に対し27人の合格者で、追加募集したいとのことでありました。

そういった看護師養成学校の絶対数が不足しているとの認識を踏まえ、置賜広域病院組合議会において置賜に看護師養成学校の設置を提言